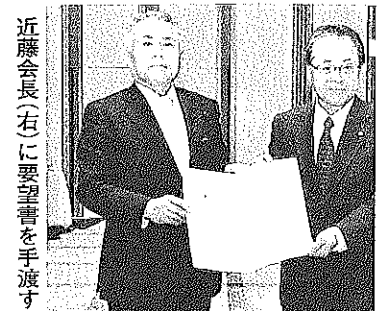


渡辺会長

年に改正された一方で、建設業を取り巻く環境が依然として厳しい状況を語り、「地域社会資本の守り手として社会貢献活

を図り、担い手としての使命を自覚した上で役割を果たしていく考えを示し、建設業の明るい未来へ期待を寄せた。  
来賓からは、はじめに国土交通省土壌・建設産業局の谷脇局長が登壇。「様々な課題があるが、現場の声をしっかりと聞



近藤会長(右)に要望書を手渡す  
全連の近藤会長

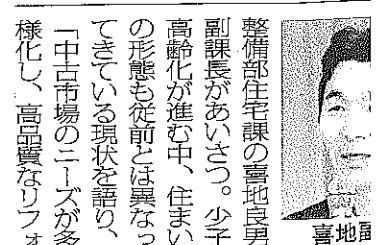
期に復旧ができたのは、建設業の現場力があってこそ」と称賛し、この現場力をしっかりと維持していけるよう、運用指針の指導徹底を約束した。



鈴木会長

「レゾーム推進協議会」(会長・鈴木兼次郎建設士事務所協会会長)は3日、一般県民対象の住宅リフォームに関する相談会と

当社は、レゾームに興味がある多数の県民が参加。夕方まで講師の話にメモを取りながら熱心に聴講し、リフォームに対する理解を深めることも、業者選定などの不安感を払拭した。  
講習会に先立ち、主催者の原を代表して、県土



整備部住宅課の喜地良男副課長(右)があいさつ。少子高齢化が進む中、住まいの形態も従前とは異なってきたという現状を語り、中古市場のニーズが多様化し、高品質なリフォーム

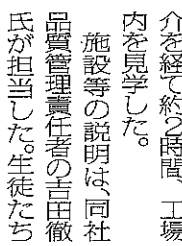
# 君津青葉高生が工場見学

## 後継者育成事業 職業選択の一助へ

製ば  
クリち  
ンクリ  
品、C C

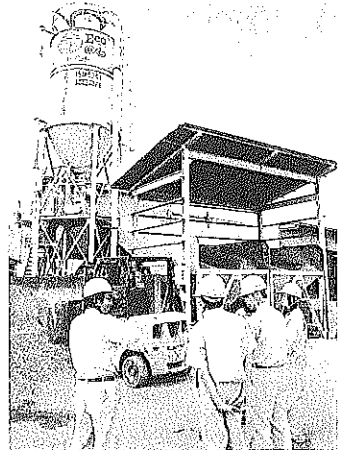
県コンクリート製品協同組合(保美善和理事)は6日、千葉県魅力ある建設業推進協議会(COIC)の事業活動として高校生を招き、同組合企業である平野コンクリート工業(平野哲也代表取締役、市原市牛久1084)のコンクリートプラント工場で見学会を開催した。後継者の育成が目的。参加した生徒の一人は、「普段は目に見えない工場の内部や検査試験の方法などを知ることができたのは、とても貴重な体験だった」と嬉しそうに語った。

今回の見学会に参加したのは、県立君津青葉高等学校総合学科土木工学系2年生5人(男子3人、女子2人)と教師3人。午後1時30分に工場へ到着した。一行は事務所に移動、出迎えた平野社長は、「コンクリートは土木工学の中の限られた分野ではあるが、しっかりと学んで今後の勉強や将来の職業選択に役立ててほしい」と呼びかけたほか、「的確な判断や責任感を感じさせる上で必要と仕事をすること



平野社長

施設等の説明は、同社品質管理責任者の吉田徹氏が担当した。生徒たち



ミキサープラントの見学

方法は脱型状況などを自ら確認した。コンクリート製品が製造されるまでを学んだ生徒たちは、製品置き場へ移動。県コンクリート製品協同組合が道路維持管理の予算が減る中、雑草の繁殖抑制を目的に開発した「ウェーブボウンウ」や、盗難防止対策として人の力では持ち上げにくい「グレーチング付きコンクリート蓋」の特長などを聞いたあと、製

試験室では、はじめに品質管理の重要性について説明。高い品質で製品をつくり、その品質を維持するため、常に管理や検査をしていることを伝えた後、吉田氏が圧縮強度の検査を表演。コン

「初めて見るものや授業で習ったものが再確認でき、非常に貴重な時間を過ごすことができた」と感謝の気持ちを伝えた。

と。どんな仕事に就いても忘れないでほしい」とエールを送った。その後、平野社長から見学スケジュールや会社概要(JIS認証登録、ISO9001認証登録、エコセメントの利用、同社の特長など)、県コンクリート製品協同組合の取組・活動内容(エコセメントやウェーブボウンウ、グレーチング盗難対策製品の開発など)を説明された生徒たちは、自己紹介を経て約2時間、工場内を見学した。

はじめに「骨材ヤード」で骨材の種類や産地などについて説明を受け、次にセメントサイロを見学。そこでサイロの容量や型式などについて学んだ。次に行は、ミキサープラントを訪れ、能力や型式などについて見聞。その後、製造ラインを見て回り、主な製品の成型

品に実際に触れ、保管状況や形状や硬さなどを確認した。その後、ポイフー室を見ながら試験室の前に来た生徒たちは、隣にあるエコセメントについても強度や色の違い、循環型社会へ寄与する製品などの特長について講義を受けた。

試験室では、はじめに品質管理の重要性について説明。高い品質で製品をつくり、その品質を維持するため、常に管理や検査をしていることを伝えた後、吉田氏が圧縮強度の検査を表演。コン

また、X-Rs管理図やヒストグラムのデータ、製品精密検査表を示し、統計手法による品質管理の手法を説明。続いて、外観・寸法検査の方法などについても説明し、今回の見学は終了となった。一行は事務所に戻り、それぞれが感じたことや疑問に思ったことを平野氏に報告。生徒たちからは、「金型は自分達で作るのがコア抜き検査で強度は落ちないのか」「仕事をすることで必要な資格は何か」といった質問。最後に生徒の代表が、「初めて見るものや授業で習ったものが再確認でき、非常に貴重な時間を過ごすことができた」と感謝の気持ちを伝えた。

「初めて見るものや授業で習ったものが再確認でき、非常に貴重な時間を過ごすことができた」と感謝の気持ちを伝えた。